

評ニ關シテ、彼ハ自ラ否定セルニ驚スルモ、今回ノ轉換期ニ際シ進
ンデ最後の意圖ヲ決スルニ躊躇セルヤノ傾向ナルヲ以テ永江
モ目下ハ實ニ立場上窮地ニ陥レル感アリ要ハ本人モ今後一般
支持組合ノ動靜如何ニヨリ最後ノ意ヲ決スルモノト思惟スル
モ前記ノ言動ヨリ見ルモ中央幹部ノ意見ヲ尊重シ善處スルモ
ノ、如シ

三、神戸市電從業員組合

幹部 中之瀬 幸吉

國家社會主義ヘノ轉向ハ明カニ「ファツシヨ」化ノ道程デア
ル、彼等ハ「ファツシヨ」ハ其ノ根本ニ於テ國家社會主義ト
相容レザルモノデアルト詭辯ヲ弄シ居ルモ事實ニ於テ軍閥ト
握手シ其ノ指導ノ下ニ行動シテ居ルデハナイカ、ファツシヨ
化ニ依テ斷ジテ「プロレタリアート」ノ解放ハ有り得ナイ。
否一層左翼ニ對スル彈壓ハ峻嚴トナルデアラウ

吾々ハ「ファツシヨ」運動コソ一時的ニ客觀的狀勢ノ刺激ニ
依リ解放運動ノ本質ヲ麻痺セシメムトスルモノデアルコトヲ
斷言シテ憚ラス、現在「ファツシヨ」熱ニ心醉シ居ル輩モ必
ズヤ將來社會民主主義ニ逆戻リスルデアラウ自分ハ現在ニ於
ケル日本ノ政治的經濟的狀勢下ニアリテハ社會民主主義ヲ最
モ正シキモノト認識シテ居ル云々。

四、總聯合幹部

森 脇 甚一
佐 野 好 雄

昨年七月日本勞働俱樂部問題ニ端ヲ發シ全國勞農大衆黨及全
國勞働ガ余リニモ總聯合ヲ無視シタルヲ以テ日勞黨以來盟友
ノ全勢ト枝別シ一意新黨樹立ヘノ道ニ進ムベク運動ヲ起シタ
ルガ時恰モ滿洲事變ニ刺激サレテ急展開シ日本國民社會黨準
備會ヲ結成スルニ至ツタ吾々ハ國際社會主義ヘ向フ道程トシ
テ社會主義日本ノ建設ヲ本然的階段ト信ジ日本國民大衆ノ生